

平成 23 年度
板橋区区民意識意向調査
報告書概要版



未来・創造
ITABASHI 21

平成 24 年 3 月
板 橋 区

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施方法.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査対象者の抽出方法.....	1
(3) 調査実施期間.....	1
(4) 調査方法.....	1
(5) 調査項目.....	1
(6) 回収結果.....	1

II 調査結果

1. 調査結果を読むにあたって.....	2
2. 調査結果の概要.....	3
(1) 回答者の属性.....	3
(2) 区での住み心地.....	4
(3) 政策・施策に対する満足度・重要度.....	6
・ 施策 (=施策の方向) レベルの満足度・重要度.....	6
・ 政策 (=個別目標) レベルの満足度・重要度.....	1 2
(4) 住民による自治のあり方.....	1 4
(5) 区政・地域活動への参加意向.....	1 6
(6) 行政サービスと住民負担のバランス.....	1 8
(7) 区が重点的に力を入れるべき施策.....	2 0
(8) 職員に期待する能力・資質.....	2 1

I 調査概要

1. 調査の目的（本編1頁）

- 「板橋区基本計画」（平成18年1月策定）及び実施計画である「いたばしNo. 1 実現プラン2015」（平成23年1月策定）を推進するにあたって、区民の皆さまの区政運営に対する満足度や重要度、区政・地域活動への参加意向など幅広くご意見・ご意向を把握することで、区民の皆さまのニーズに基づいた実効性のある施策展開を目指すために実施しました。

2. 調査の実施方法（本編1頁）

（1）調査対象

- 板橋区にお住まいの満20歳以上の一般区民

（2）調査対象者の抽出方法

- 住民基本台帳に基づき、3,000人を区内5地域（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平）の登録人口に応じた按分比で無作為抽出（層化二段無作為抽出）

（3）調査実施期間

- 平成23年11月25日（金）～12月9日（金）

（4）調査方法

- 調査票の配布、回収ともに郵送にて実施

（5）調査項目

- 回答者の負担を軽減するため、調査票の一部を調査票 A/B に振り分け、各々1,500人ずつに配布しました。
- 調査票の構成は、以下のとおりです。
 - ①区での住み心地
 - ②政策・施策に対する満足度・重要度
 - ③住民による自治のあり方
 - ④区政・地域活動への参加意向
 - ⑤行政サービスと住民負担のバランス
 - ⑥区が重点的に力を入れるべき施策
 - ⑦職員に期待する能力・資質
 - ⑧回答者の属性（性別、年齢など）

（6）回収結果

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
合計	3,000件	1,278件	42.6%
調査票 A	1,500件	609件	40.6%
調査票 B	1,500件	669件	44.6%

Ⅱ 調査結果

1. 調査結果を読むにあたって（本編5頁）

- グラフ中の「n=～」とは、その質問に対して回答していただくべき回答者数の総数を表しています。基本的には調査票を返送していただいた1,278人となっていますが、一部の方にのみ回答を求めた質問や調査票の分割により約半数の方しか回答していない質問に関しては、1,278人よりも少ない値となっています。
- 集計表やグラフでは、基本的に回答者数に占める割合を「%」表示にて示しています。集計にあたっては小数点第2位を四捨五入しているため、全体の数値の合計が100%ちょうどにならない場合があります。
- 回答者には、板橋区内を5地域に区分して居住地域を質問しています。地域区分は以下のとおりです。

地域名	対象地域
板橋地域	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見地域センター管内
常盤台地域	大谷口・常盤台・桜川地域センター管内
志村地域	清水・志村坂上・中台・前野地域センター管内
赤塚地域	下赤塚・成増・徳丸地域センター管内
高島平地域	蓮根・舟渡・高島平地域センター管内

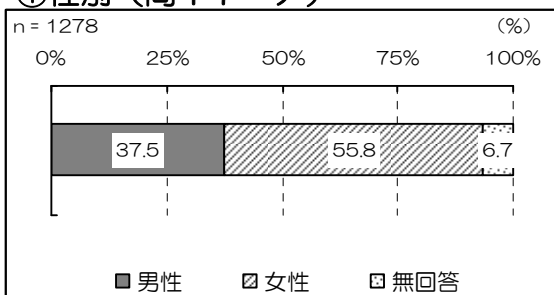


2. 調査結果の概要

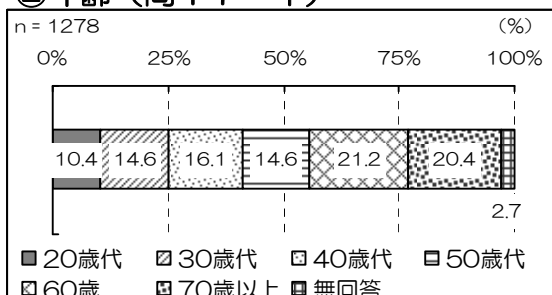
(1) 回答者の属性 (本編5~10頁)

● 回答者の性別、年齢、職業など属性情報に関する集計結果は、以下のとおりです。

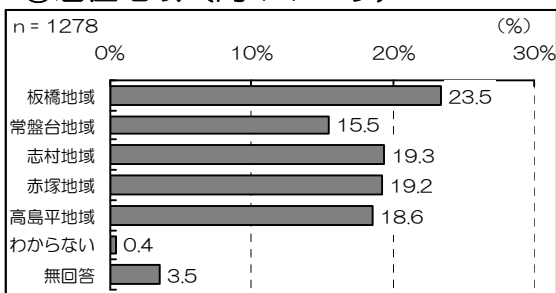
①性別 (問17 ア)



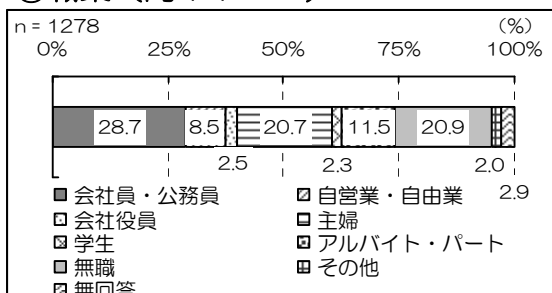
②年齢 (問17 イ)



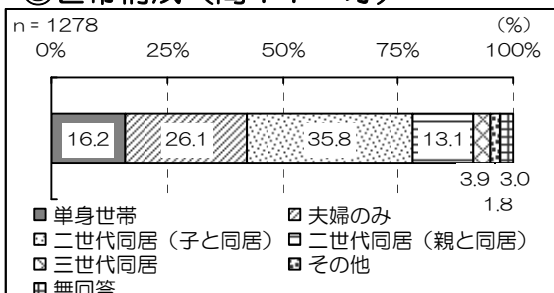
③居住地 (問17 ウ)



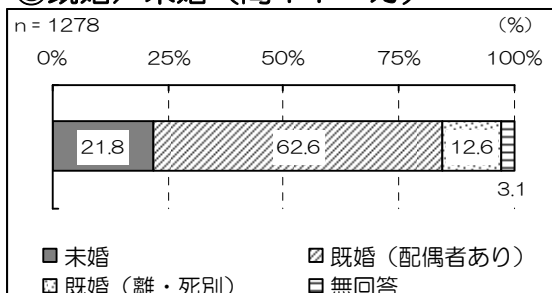
④職業 (問17 エ)



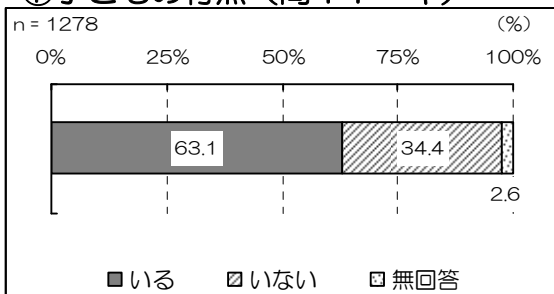
⑤世帯構成 (問17 オ)



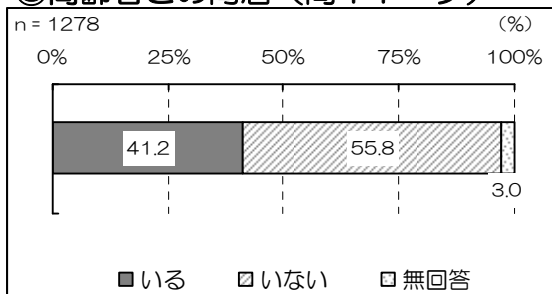
⑥既婚/未婚 (問17 カ)



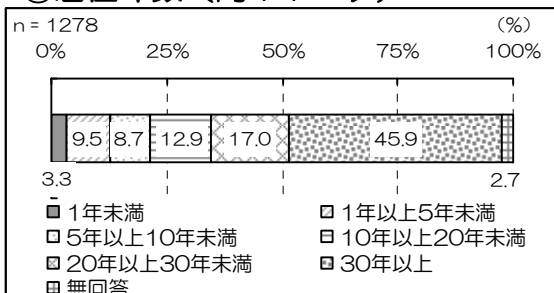
⑦子どもの有無 (問17 キ)



⑧高齢者との同居 (問17 ク)



⑨居住年数 (問17 ケ)

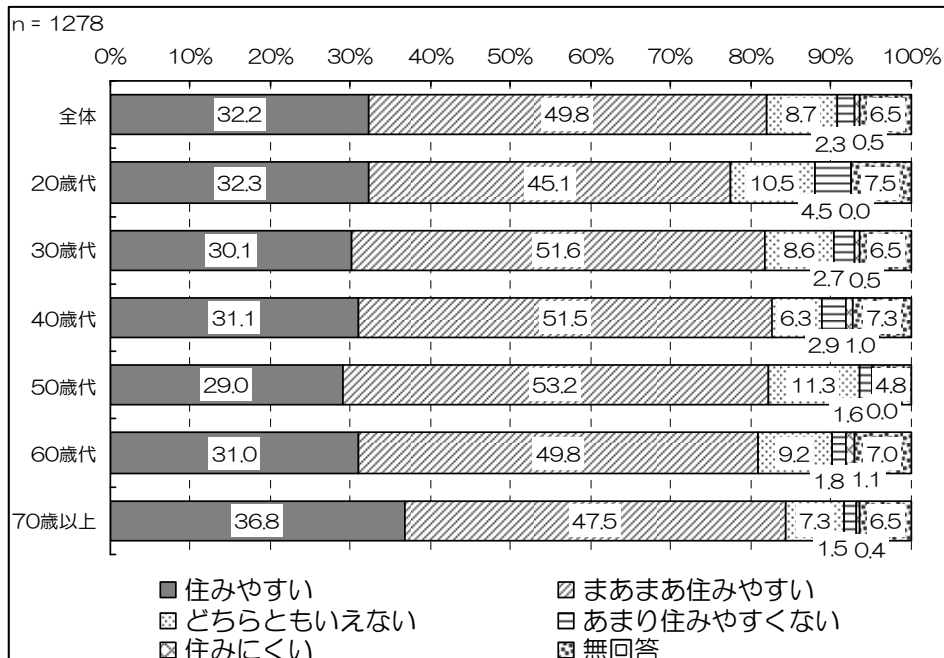


(2) 区での住み心地

①板橋区での住み心地（問1）（本編 11～14 頁）

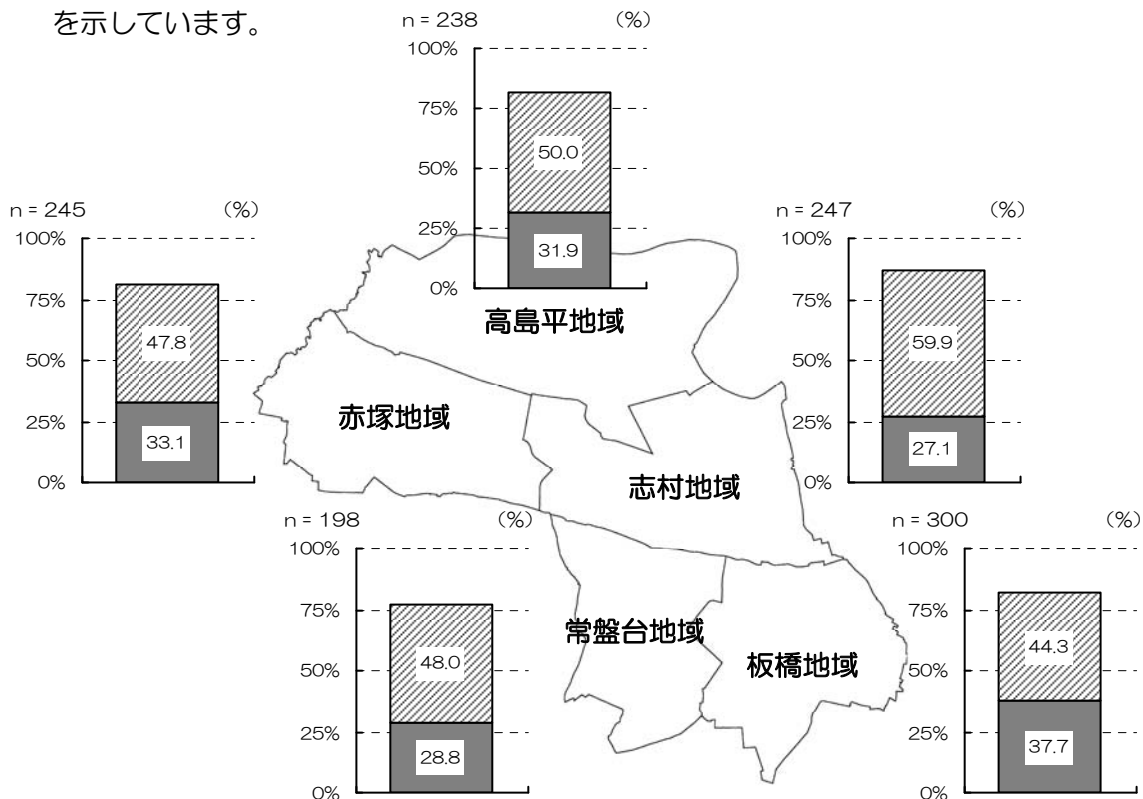
【全体傾向・年齢別】

- 「住みやすい」「まあまあ住みやすい」を合わせた回答の割合が、約8割となっています。
- 「70歳以上」で「住みやすい」の割合が36.8%であり、他の年齢階層と比較して高くなっています。



【区内5地域別】

- 「住みやすい」の割合が、「板橋地域」で37.7%と他地域と比較して高くなっていますが、「まあまあ住みやすい」との合計で見ると、「志村地域」が87.0%と最も高い割合を示しています。

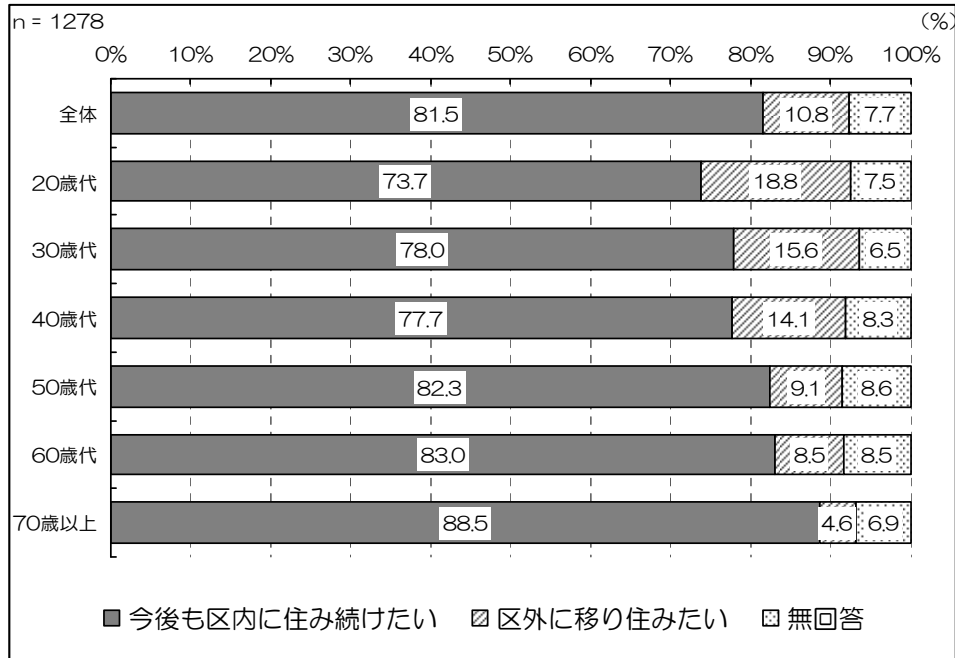


※凡例は上段のグラフと同様です

②今後の居住意向（問2） （本編 15～18 頁）

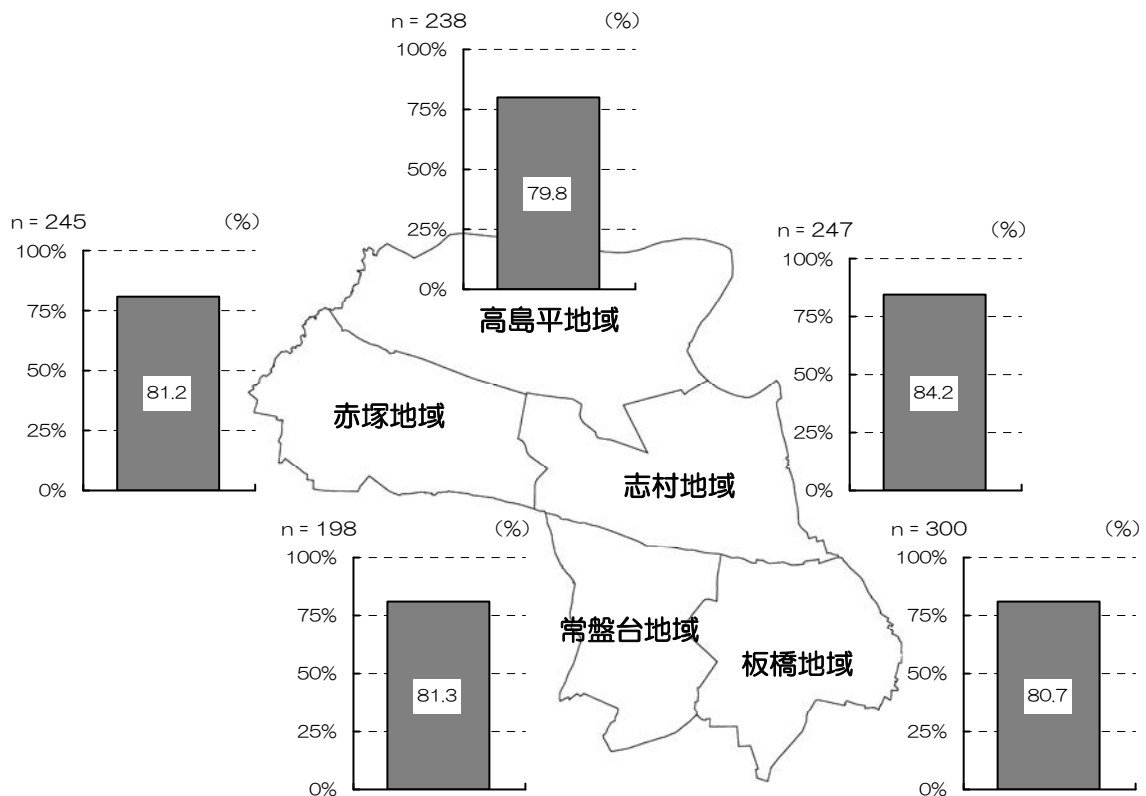
【全体傾向・年齢別】

- 「今後も区内に住み続けたい」と回答した方が最も多く、約8割となっています。
- 「70歳以上」で「今後も区内に住み続けたい」の割合が最も高く、年齢が高くなるほど今後の居住意向も高くなる傾向が見られます。



【区内5地域別】

- 「志村地域」で「今後も区内に住み続けたい」の割合が84.2%と他地域と比較して高くなっていますが、全体的な傾向は地域によりほとんど差異はありません。



※凡例は上段のグラフと同様です

(3) 政策・施策に対する満足度・重要度

- 板橋区では、「板橋区基本計画」において「いきいき暮らす緑と文化のまち“板橋””という将来像を示し、その実現に向けて3つの基本目標及びその下に位置づけられる17項目の個別目標と2項目の計画推進のための方針を掲げて、多岐に渡る施策を展開しています。
- 本調査では、それら目標の達成度合いを測るために設定された成果指標（＝「～と感じる区民の割合」）に関して、「現在、その取組みに対してどのくらい満足しているか」という満足度と、「今後、その取組みがどのくらい重要か」という重要度を明らかにしています。

①施策（＝施策の方向）レベルの満足度・重要度（問3）

ア. 各施策項目の満足度一覧（本編23～32頁）

- 今回（平成23年度）調査にて聴取した全72の施策項目の結果に関して、「満足」「まあ満足」と回答した方を合計した割合の順に並べると、以下のとおりです。
- 50%を上回っている施策項目は、全72項目のうち、5項目となっています。

順位	施策項目	(%)	順位	施策項目	(%)
1	公共交通	74.4	37	まちなみ・景観	23.0
2	ごみ出しルール	69.1	38	危機管理体制	22.9
3	区への愛着	61.2	39	男女平等の社会参画	22.4
4	食品衛生	60.2	40	子どもの健全育成	22.4
5	公園・緑地の整備	53.7	41	家事・育児・介護の男女協力	20.9
6	自然地の保全	49.6	42	伝統芸能	20.5
7	リサイクル	48.4	43	震災に強いまち	20.4
8	防犯対策	47.7	44	障がい者の教育環境	19.9
9	水害対策	44.7	45	障がい者福祉サービス	19.7
10	魅力ある商店街	44.1	46	文化芸術	19.4
11	道路の安全	43.0	47	地域介護サービス	18.9
12	防災意識	42.6	48	様々な主体による協働	18.1
13	歩行の安全	41.6	49	青少年の健全育成	17.6
14	市街地の安全性・利便性	37.4	50	バリアフリー	17.6
15	子育て環境	37.3	51	公書抑制	17.6
16	医療体制	37.3	52	労働環境	17.5
17	区職員の対応	36.9	53	生涯学習	16.6
18	健康づくり	35.6	54	高齢者の社会参加	16.6
19	空気・水	35.4	55	学校教育	16.0
20	住居の広さ	34.8	56	成果重視の行政運営	14.3
21	区政情報の公開	33.3	57	省エネルギー	13.5
22	名所・旧跡、イベント	33.0	58	区民の声の区政への反映	13.0
23	快適なまち	32.4	59	コミュニティー活動	12.3
24	IT活用	31.9	60	区計画への参加機会	12.0
25	高齢者福祉サービス	31.4	61	外国人の生活	11.8
26	消費生活	30.9	62	活力ある工業	11.2
27	都市緑化	30.9	63	総合的な区政運営	10.9
28	区への誇り	30.0	64	地域中小企業の健全経営	10.5
29	保健・医療・福祉の連携	29.6	65	農地の保全・活用	10.5
30	平和意識	28.2	66	障がい者の社会参加	10.2
31	児童福祉サービス	27.9	67	自転車利用のマナー	8.8
32	歴史的文化財	27.3	68	自治権の拡充	8.8
33	地域連携による子育て	27.0	69	効率的な行財政運営	8.5
34	スポーツ	26.9	70	ボランティア・NPO活動	6.7
35	学校の適正規模・施設	25.7	71	国際交流	6.2
36	個人情報の保護	24.5	72	新産業創出	4.1

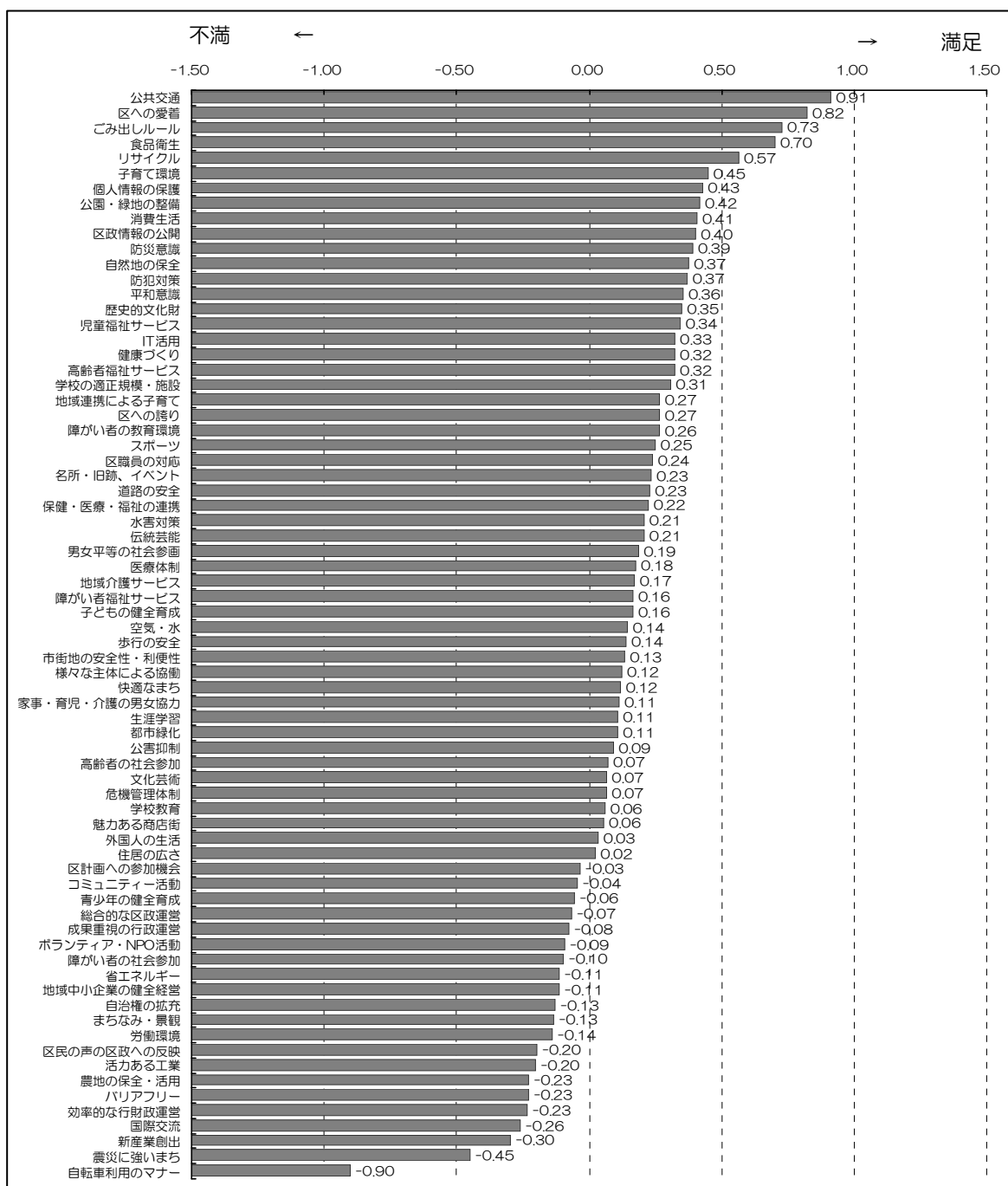
イ. 加重平均で見る各施策項目の満足度 (本編 33~39 頁)

- 全72項目の施策項目を加重平均による満足度順に並べたグラフは、以下のとおりです。
- 上位3位をあげると、「公共交通」(0.91)、「区への愛着」(0.82)、「ごみ出しルール」(0.73)となっています。一方、下位3位をあげると、「自転車利用のマナー」(-0.90)、「震災に強いまち」(-0.45)、「新産業創出」(-0.30)となっています。

※「満足」「まあ満足」を合計した割合のみでは、「わからない」あるいは無回答の割合が高い施策項目が過小評価されてしまうので、加重平均にて満足度を得点化しました。具体的には、各々の評価に「満足：2点」「まあ満足：1点」「どちらでもない：0点」「やや不満：-1点」「不満：-2点」という点数を付け、以下の式で加重平均値を計算しました。

各々に回答した方の人数が w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、

$$(\text{加重平均値}) = \frac{2\text{点} \times w_1 + 1\text{点} \times w_2 + 0\text{点} \times w_3 + (-1\text{点}) \times w_4 + (-2\text{点}) \times w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$



ウ. 前回（平成21年度）調査との比較（本編40～41頁）

【「満足」「まあ満足」の合計値による比較】

- 満足度の上位5位を見ると、1位「公共交通」、2位「ごみ出しルール」、3位「区への愛着」、4位「食品衛生」までは同一であり、いずれも満足度が上がっていて安定した上位となっています。

順位	平成23年度	(%)	順位	平成21年度	(%)
1	公共交通	74.4	1	公共交通	64.6
2	ごみ出しルール	69.1	2	ごみ出しルール	59.1
3	区への愛着	61.2	3	区への愛着	57.0
4	食品衛生	60.2	4	食品衛生	51.0
5	公園・緑地の整備	53.7	5	リサイクル	48.9

- 満足度の下位5位を見ると、1位「新産業創出」、2位「国際交流」、4位「自転車利用のマナー」は同一であり、3位の「ボランティア・NPO活動」は前回7位ですが、今回最も悪化している項目であることから、下位に加わっています。

順位	平成23年度	(%)	順位	平成21年度	(%)
1	新産業創出	4.1	1	新産業創出	5.0
2	国際交流	6.2	2	国際交流	7.4
3	ボランティア・NPO活動	6.7	3	活力ある工業	7.5
4	自転車利用のマナー	8.8	4	自転車利用のマナー	8.5
5	障がい者の社会参加	10.2	5	農地の保全・活用	9.6

- 前回と比較して特に満足度が大きく上がった施策項目は、「防犯対策」（19.1ポイント改善）、「防災意識」（11.2ポイント改善）、「ごみ出しルール」（10.0ポイント改善）であり、いずれも10ポイント以上改善しています。

順位	施策項目	改善度合い	今回 (平成23年度)	前回 (平成21年度)
1	防犯対策	19.1ポイント	47.7%	28.6%
2	防災意識	11.2ポイント	42.6%	31.4%
3	ごみ出しルール	10.0ポイント	69.1%	59.1%
4	公共交通	9.8ポイント	74.4%	64.6%
5	空気・水	9.7ポイント	35.4%	25.7%

- 前回と比較して最も満足度が下がった施策項目は「ボランティア・NPO活動」であり、前回と比較して4.0ポイント悪化しています。

順位	施策項目	改善度合い	今回 (平成23年度)	前回 (平成21年度)
1	ボランティア・NPO活動	-4.0ポイント	6.7%	10.7%
2	IT活用	-3.5ポイント	31.9%	35.4%
3	バリアフリー	-2.9ポイント	17.6%	20.5%
4	区への誇り	-2.8ポイント	30.0%	32.8%
5	省エネルギー	-2.7ポイント	13.5%	16.2%

【加重平均値による満足度の比較】

- 満足度の上位5位を見ると、1位「公共交通」、2位「区への愛着」、5位「リサイクル」は同一であり、3位と4位は「ごみ出しルール」と「食品衛生」が入れ替わっています。順位の多少の前後はありますが、上位5位以内の施策項目は変わっておらず、安定しています。

順位	平成23年度	加重平均	順位	平成21年度	加重平均
1	公共交通	0.91	1	公共交通	0.72
2	区への愛着	0.82	2	区への愛着	0.65
3	ごみ出しルール	0.73	3	食品衛生	0.52
4	食品衛生	0.70	4	ごみ出しルール	0.51
5	リサイクル	0.57	5	リサイクル	0.49

- 満足度の下位5位を見ると、1位「自転車利用のマナー」のみが同一の順位であり、2位以下は前回調査と異なっていますが、「震災に強いまち」「新産業創出」は、前回調査と同様に下位5位以内に入っています。

順位	平成23年度	加重平均	順位	平成21年度	加重平均
1	自転車利用のマナー	-0.90	1	自転車利用のマナー	-0.94
2	震災に強いまち	-0.45	2	新産業創出	-0.45
3	新産業創出	-0.30	3	活力ある工業	-0.41
4	国際交流	-0.26	4	震災に強いまち	-0.37
5	バリアフリー	-0.23	5	農地の保全・活用	-0.37

- 前回と比較して最も満足度が大きく上がった施策項目は「防犯対策」であり、前回より0.46ポイント改善しています。

順位	施策項目	改善度合い	今回 (平成23年度)	前回 (平成21年度)
1	防犯対策	0.46ポイント	0.37	-0.09
2	平和意識	0.29ポイント	0.36	0.07
3	子育て環境	0.28ポイント	0.45	0.17
4	名所・旧跡、イベント	0.28ポイント	0.23	-0.05
5	高齢者福祉サービス	0.27ポイント	0.32	0.05

- 前回と比較して満足度が下がった施策項目は、「水害対策」(0.10ポイント悪化)、「震災に強いまち」(0.08ポイント悪化)、「バリアフリー」(0.06ポイント悪化)となっています。

順位	施策項目	改善度合い	今回 (平成23年度)	前回 (平成21年度)
1	水害対策	-0.10ポイント	0.21	0.31
2	震災に強いまち	-0.08ポイント	-0.45	-0.37
3	バリアフリー	-0.06ポイント	-0.23	-0.17
4	道路の安全	-0.02ポイント	0.23	0.25
5	区民の声の区政への反映	-0.02ポイント	-0.20	-0.18

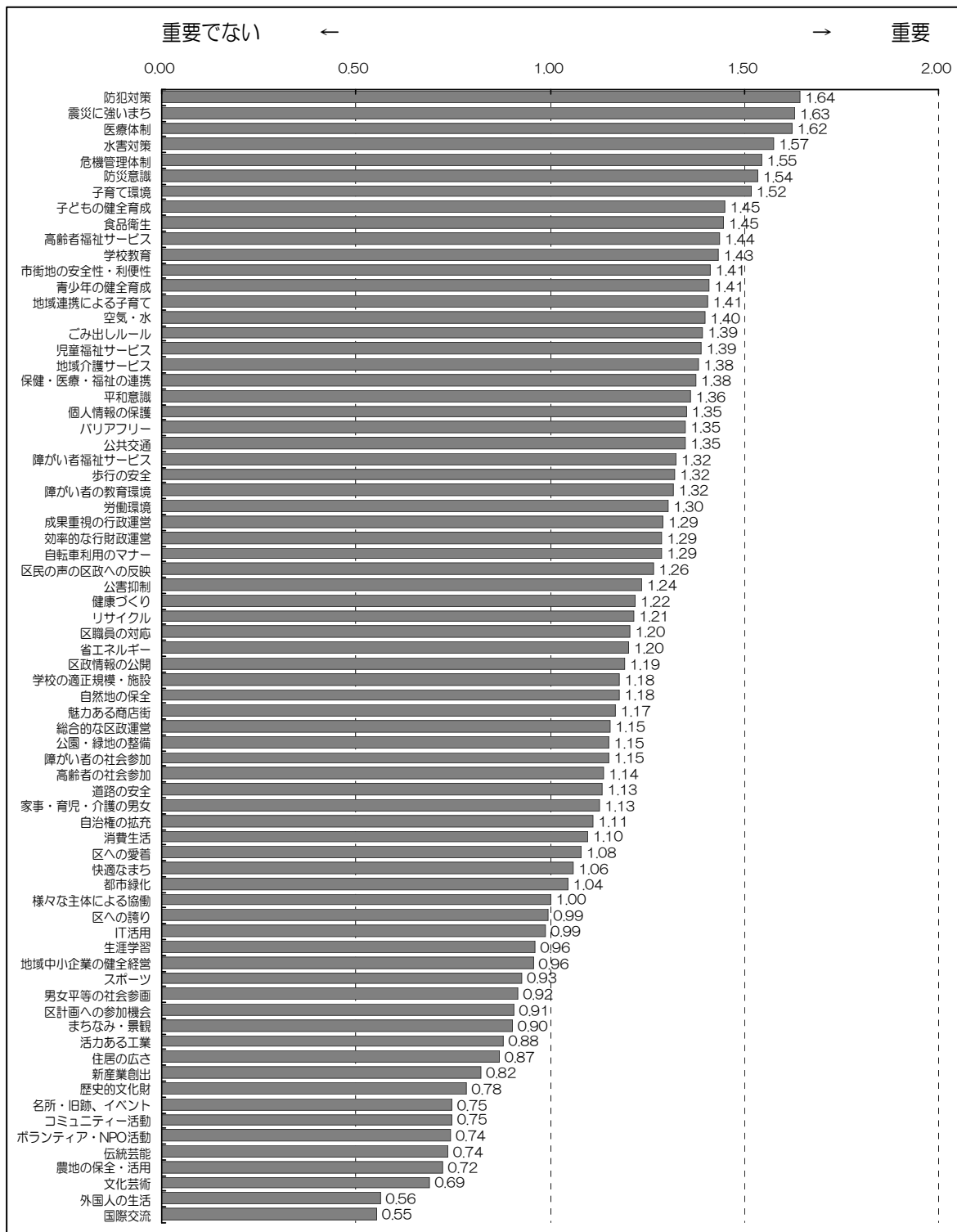
工. 各施策項目の重要度一覧 (本編 42~51 頁)

- 今回(平成23年度)調査にて聴取した全72の施策項目の結果に関して、「重要」「ある程度重要」と回答した方を合計した割合の順に並べると、以下のとおりです。
- 50%を上回っている施策項目は、全72項目のうち、半数を上回る39項目となっています。

順位	施策項目	(%)	順位	施策項目	(%)
1	水害対策	82.1	37	区への誇り	52.3
2	ごみ出しルール	81.9	38	児童福祉サービス	51.8
3	震災に強いまち	81.4	39	消費生活	51.6
4	歩行の安全	81.3	40	家事・育児・介護の男女協力	49.2
5	公共交通	80.9	41	IT活用	49.1
6	防犯対策	80.0	42	スポーツ	48.7
7	空気・水	79.5	43	公害抑制	47.6
8	自転車利用のマナー	78.5	44	学校教育	47.2
9	食品衛生	78.0	45	区民の声の区政への反映	47.0
10	魅力ある商店街	77.1	46	学校の適正規模・施設	46.8
11	医療体制	76.7	47	地域介護サービス	46.3
12	公園・緑地の整備	76.2	48	障がい者福祉サービス	45.5
13	防災意識	76.1	49	名所・旧跡、イベント	45.5
14	自然地の保全	76.1	50	男女平等の社会参画	44.7
15	市街地の安全性・利便性	75.2	51	個人情報の保護	44.0
16	道路の安全	72.9	52	高齢者の社会参加	43.7
17	快適なまち	68.3	53	障がい者の教育環境	42.6
18	都市緑化	68.0	54	成果重視の行政運営	41.7
19	バリアフリー	66.5	55	生涯学習	41.6
20	リサイクル	66.5	56	活力ある工業	41.0
21	健康づくり	64.9	57	歴史的文化財	38.6
22	区への愛着	64.5	58	様々な主体による協働	37.9
23	区職員の対応	63.6	59	区計画への参加機会	37.3
24	まちなみ・景観	62.9	60	コミュニティー活動	37.1
25	保健・医療・福祉の連携	62.1	61	障がい者の社会参加	36.9
26	危機管理体制	61.9	62	文化芸術	36.5
27	子育て環境	59.2	63	効率的な行財政運営	35.1
28	住居の広さ	58.7	64	地域中小企業の健全経営	34.2
29	高齢者福祉サービス	58.3	65	伝統芸能	33.5
30	労働環境	57.1	66	総合的な区政運営	32.4
31	平和意識	56.3	67	自治権の拡充	30.3
32	子どもの健全育成	54.9	68	農地の保全・活用	28.1
33	区政情報の公開	54.4	69	新産業創出	27.9
34	地域連携による子育て	54.0	70	ボランティア・NPO活動	27.6
35	青少年の健全育成	53.5	71	国際交流	27.1
36	省エネルギー	52.9	72	外国人の生活	26.4

オ. 加重平均で見る各施策項目の重要度 (本編 52~58 頁)

- 前述の満足度と同様に、重要度に関しても加重平均による得点化を行いました。重要度では、「重要：2点」「ある程度重要：1点」「どちらでもない：0点」「あまり重要でない：-1点」「重要でない：-2点」という点数としました。
- 全72項目の施策項目を加重平均による重要度順に並べたグラフは、以下のとおりです。
- 上位3位をあげると、「防犯対策」(1.64)、「震災に強いまち」(1.63)、「医療体制」(1.62)となっています。一方、下位3位をあげると、「国際交流」(0.55)、「外国人の生活」(0.56)、「文化芸術」(0.69)となっています。



②政策（=個別目標）レベルの満足度・重要度（問4）

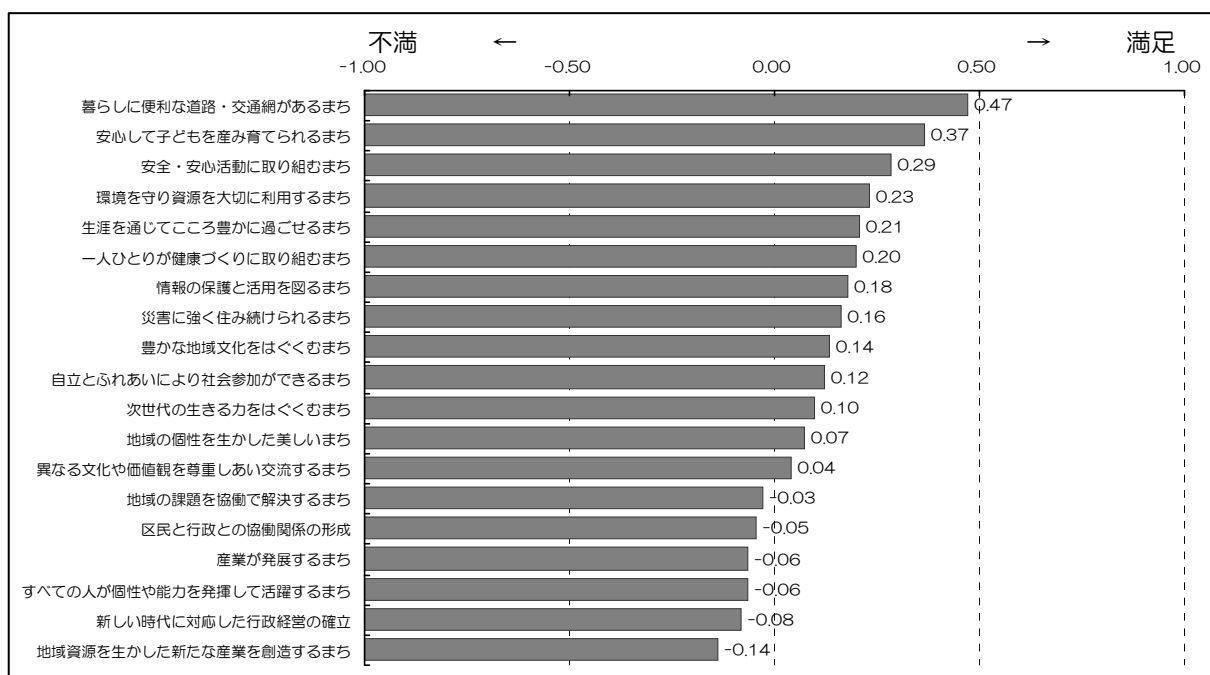
ア. 個別目標別の満足度一覧（本編 59～61 頁）

- 個別目標及び計画推進に係る方針別の全 19 項目の満足度は、以下のとおりです。
- 「満足」「まあ満足」を合計した割合が最も高いのは「暮らしに便利な道路・交通網があるまち」の48.9%であり、次いで「安心して子どもを産み育てられるまち」の35.2%となっています。

個別目標	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	無回答
安心して子どもを産み育てられるまち	4.0	31.2	22.8	8.1	2.9	27.3	3.7
次世代の生きる力をはぐくむまち	2.1	19.6	34.3	9.9	3.5	26.0	4.7
一人ひとりが健康づくりに取り組むまち	2.6	23.0	37.5	8.1	2.7	21.1	5.0
生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち	4.1	24.7	35.1	10.8	3.0	18.5	3.8
自立とふれあいにより社会参加ができるまち	2.4	16.4	41.7	7.4	2.6	25.3	4.1
すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち	1.1	9.9	42.3	9.4	3.4	29.8	4.1
地域の課題を協働で解決するまち	1.1	9.6	35.2	8.2	2.7	38.3	4.9
産業が発展するまち	1.8	12.1	32.2	13.0	3.4	32.7	4.8
地域資源を生かした新たな産業を創造するまち	1.3	7.7	34.2	12.1	3.2	36.9	4.5
豊かな地域文化をはぐくむまち	2.7	16.8	35.5	8.1	2.6	29.8	4.5
異なる文化や価値観を尊重しあい交流するまち	1.5	12.8	36.1	7.8	2.7	34.7	4.3
安全・安心活動に取り組むまち	4.3	29.3	34.7	9.0	3.0	14.8	4.9
災害に強く住み続けられるまち	4.4	25.1	34.3	13.0	3.9	14.6	4.8
地域の個性を生かした美しいまち	3.0	17.7	42.1	10.3	3.9	18.3	4.8
環境を守り資源を大切に利用するまち	3.3	24.9	38.0	8.5	2.5	17.5	5.2
暮らしに便利な道路・交通網があるまち	10.2	38.7	22.8	11.4	3.4	9.7	3.8
情報の保護と活用を図るまち	2.4	17.4	38.8	5.7	2.3	28.1	5.2
区民と行政との協働関係の形成	1.6	11.8	29.9	8.6	4.5	39.2	4.3
新しい時代に対応した行政経営の確立	1.3	10.5	31.3	8.5	4.5	39.2	4.6

※単位：%

- 加重平均値の上位3位をあげると、「暮らしに便利な道路・交通網があるまち」(0.47)、「安心して子どもを産み育てられるまち」(0.37)、「安全・安心活動に取り組むまち」(0.29)となっています。一方、下位3位をあげると、「地域資源を生かした新たな産業を創造するまち」(-0.14)、「新しい時代に対応した行政経営の確立」(-0.08)、「すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち」(-0.06)となっています。



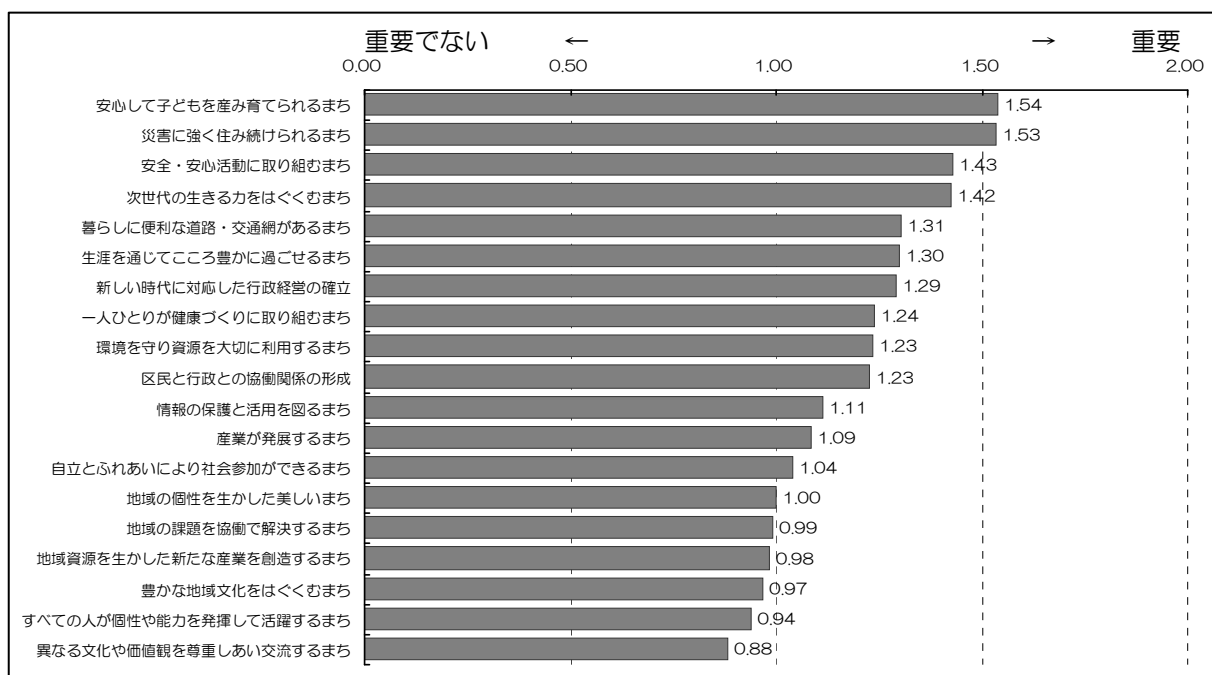
イ. 個別目標別の重要度一覧 (本編 62~64 頁)

- 個別目標及び計画推進に係る方針別の全19項目の重要度は、以下のとおりです。
- 「重要」「ある程度重要」を合計した割合が最も高いのは「暮らしに便利な道路・交通網があるまち」の73.0%であり、次いで「災害に強く住み続けられるまち」の72.8%となっています。

個別目標	重要	重要 ある 程度	でも ない	重要 あまり でない	重要 でない	わからない	無 回答
安心して子どもを産み育てられるまち	40.5	22.3	3.8	0.2	0.2	27.3	5.8
次世代の生きる力をはぐくむまち	35.4	26.4	5.4	0.4	0.2	26.0	6.3
一人ひとりが健康づくりに取り組むまち	27.7	33.9	9.5	0.4	0.1	21.1	7.3
生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち	32.7	32.5	8.8	0.5	0.2	18.5	6.9
自立とふれあいにより社会参加ができるまち	19.7	33.6	13.4	1.4	0.2	25.3	6.4
すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち	16.9	29.6	15.6	1.5	0.7	29.8	5.9
地域の課題を協働で解決するまち	13.8	29.2	11.1	1.1	0.3	38.3	6.2
産業が発展するまち	19.9	28.6	10.8	1.3	0.4	32.7	6.3
地域資源を生かした新たな産業を創造するまち	15.9	27.3	11.9	1.4	0.7	36.9	5.9
豊かな地域文化をはぐくむまち	16.7	31.0	14.1	1.8	0.4	29.8	6.2
異なる文化や価値観を尊重しあい交流するまち	13.8	27.6	15.5	1.7	0.6	34.7	5.9
安全・安心活動に取り組むまち	42.6	27.5	7.3	0.6	0.2	14.8	7.0
災害に強く住み続けられるまち	49.4	23.4	5.6	0.4	0.2	14.6	6.4
地域の個性を生かした美しいまち	21.4	34.7	16.3	2.0	0.4	18.3	6.8
環境を守り資源を大切に利用するまち	30.8	33.2	10.7	0.8	0.2	17.5	6.8
暮らしに便利な道路・交通網があるまち	37.7	35.3	8.1	1.3	0.5	9.7	7.4
情報の保護と活用を図るまち	23.9	26.8	13.5	1.4	0.1	28.1	6.3
区民と行政との協働関係の形成	23.5	22.7	8.1	1.1	0.2	39.2	5.2
新しい時代に対応した行政経営の確立	26.0	21.7	7.0	0.9	0.3	39.2	4.9

※単位 : %

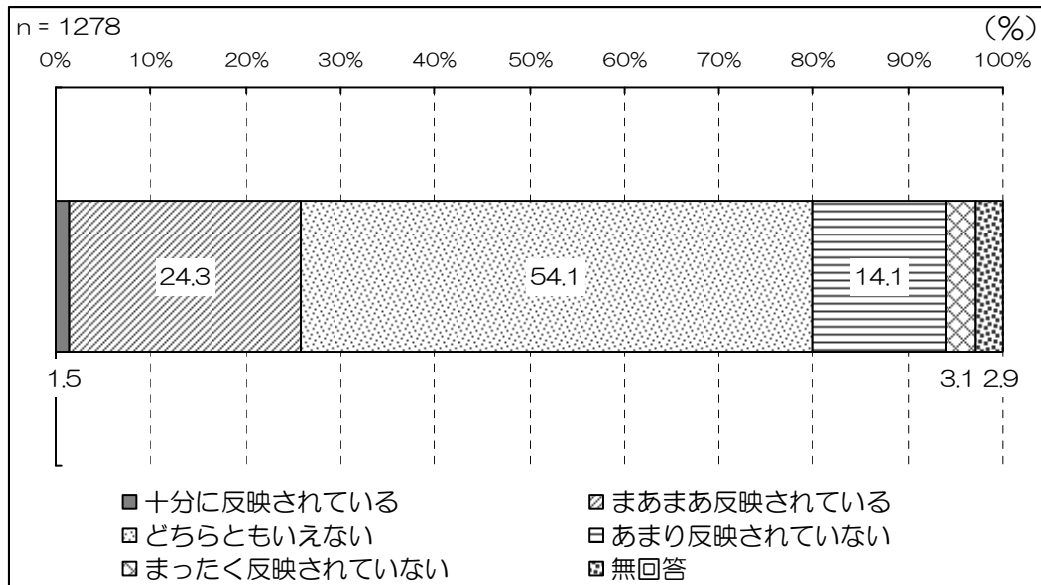
- 加重平均値の上位3位をあげると、「安心して子どもを産み育てられるまち」(1.54)、「災害に強く住み続けられるまち」(1.53)、「安全・安心活動に取り組むまち」(1.43)となっています。一方、下位3位をあげると、「異なる文化や価値観を尊重しあい交流するまち」(0.88)、「すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち」(0.94)、「豊かな地域文化をはぐくむまち」(0.97)となっています。



(4) 住民による自治のあり方

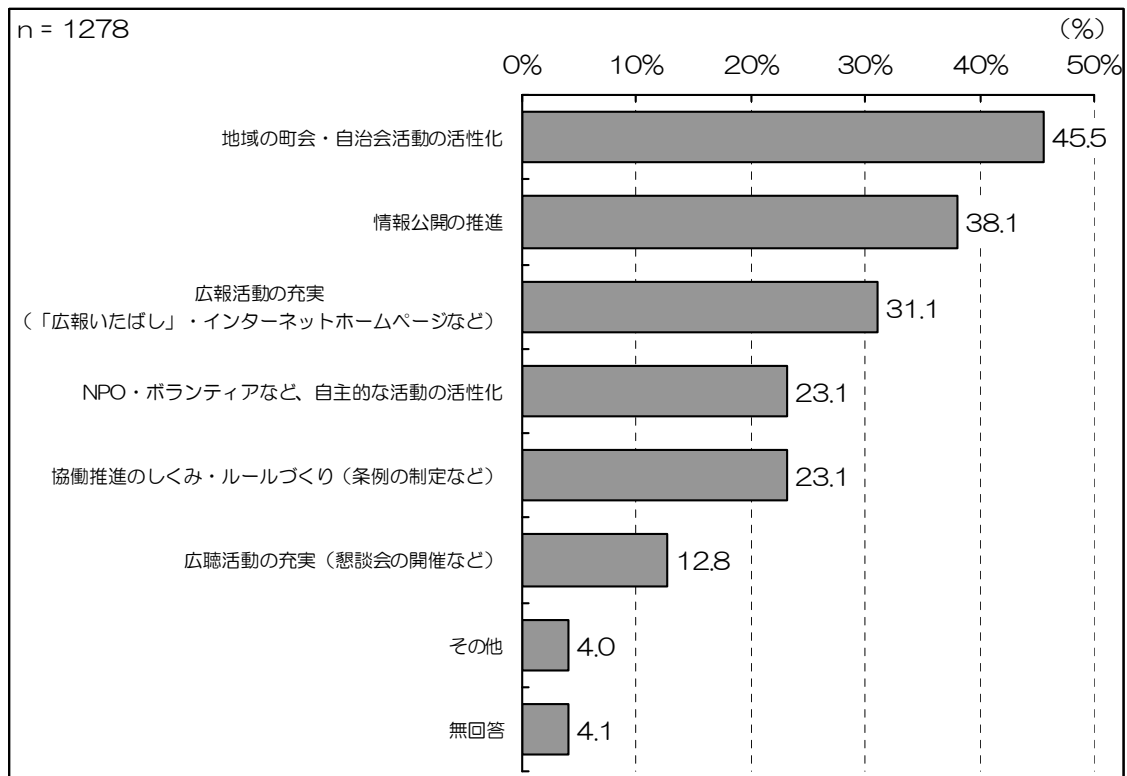
①まちづくりへの区民意識の反映状況（問5）（本編65～69頁）

- まちづくりに区民の意見が反映されているかとの問いに対して「十分に反映されている」「まあまあ反映されている」と回答された方は、合わせて25.8%となっています。
- 最も多かった回答は「どちらともいえない」であり、半数を超えています。



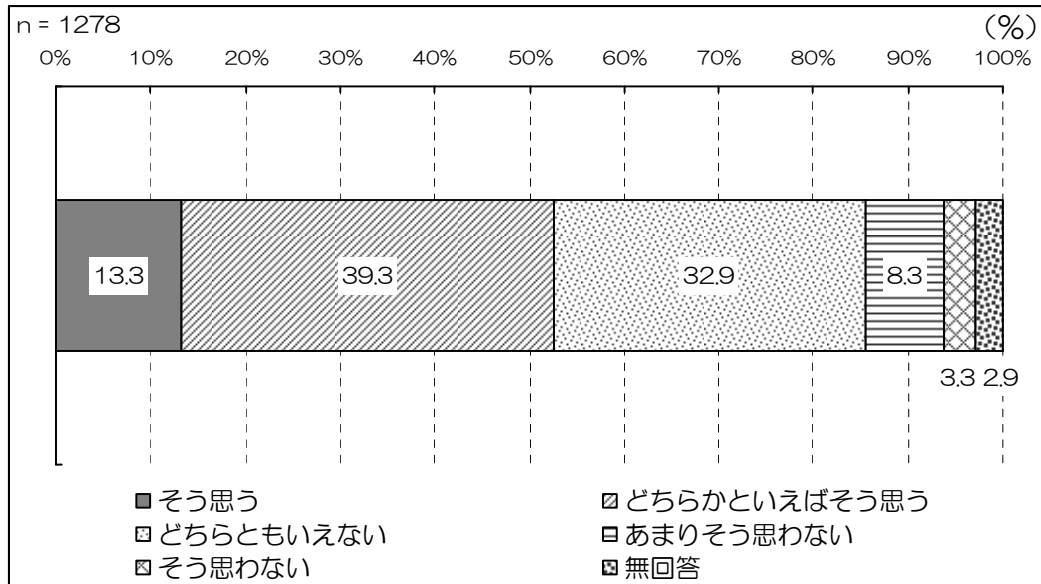
②区と区民による協働でのまちづくりに必要な取り組み（問6）（本編70～71頁）

- 区と区民による協働でのまちづくりに必要な取り組みについての問いに対して、「地域の町会・自治会活動の活性化」と回答した方が最も多く、次いで「情報公開の推進」「広報活動の充実（「広報いたばし」・インターネットホームページなど）」と情報公開・提供関連の項目が続いています。



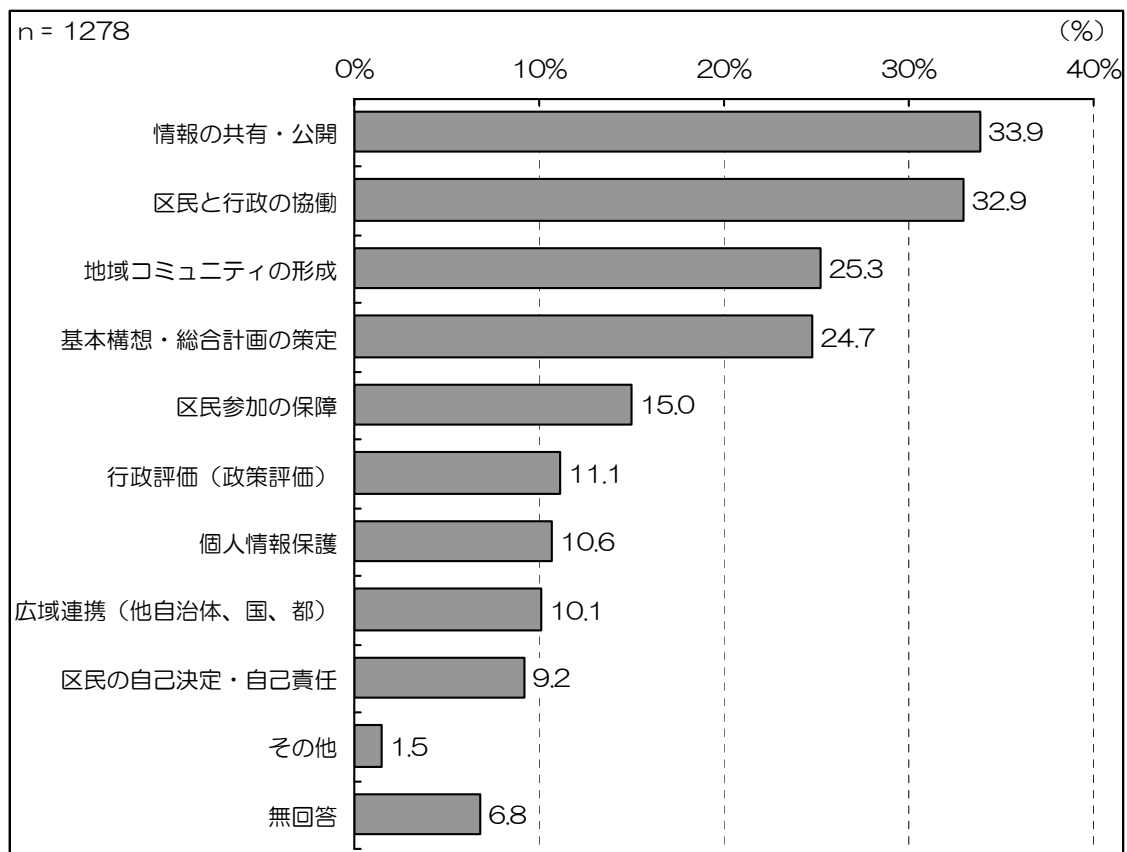
③区民主体での地域課題・まちづくりの運営ルール（問7）（本編 72～75 頁）

- 地域課題への対応やまちづくりの方法に関して区民自らが運営ルールを考えていくべきかという問いに対しては「どちらかといえばそう思う」と回答した方が最も多く、「そう思う」と合わせると約5割の方が区民自らが運営ルールを考えるべきとしています。



④自治体の運営ルール策定にあたって規定すべき考え方（問8）（本編 76～77 頁）

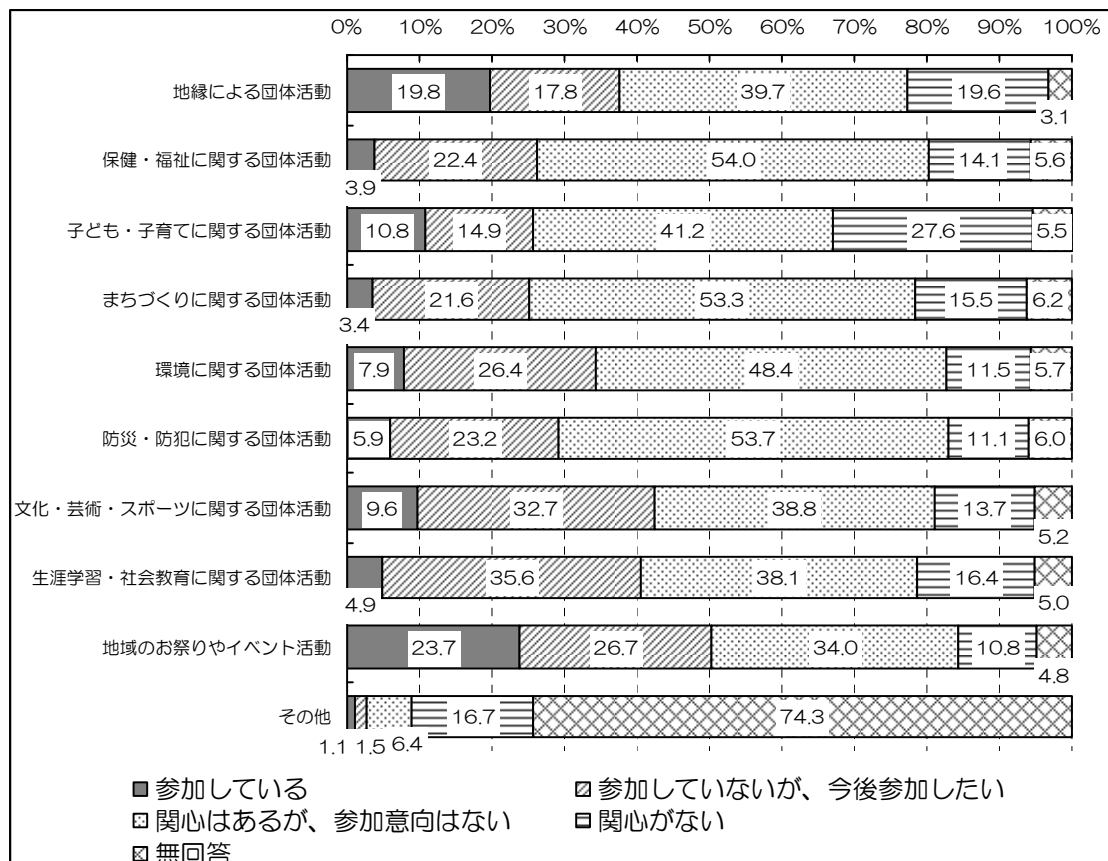
- 自治体の運営ルールを定めていく場合にどのようなものを基本的な考え方として規定すべきかとの問いに対しては、「情報の共有・公開」と回答した方が最も多く、次いで「区民と行政の協働」「地域コミュニティの形成」となっています。



(5) 区政・地域活動への参加意向

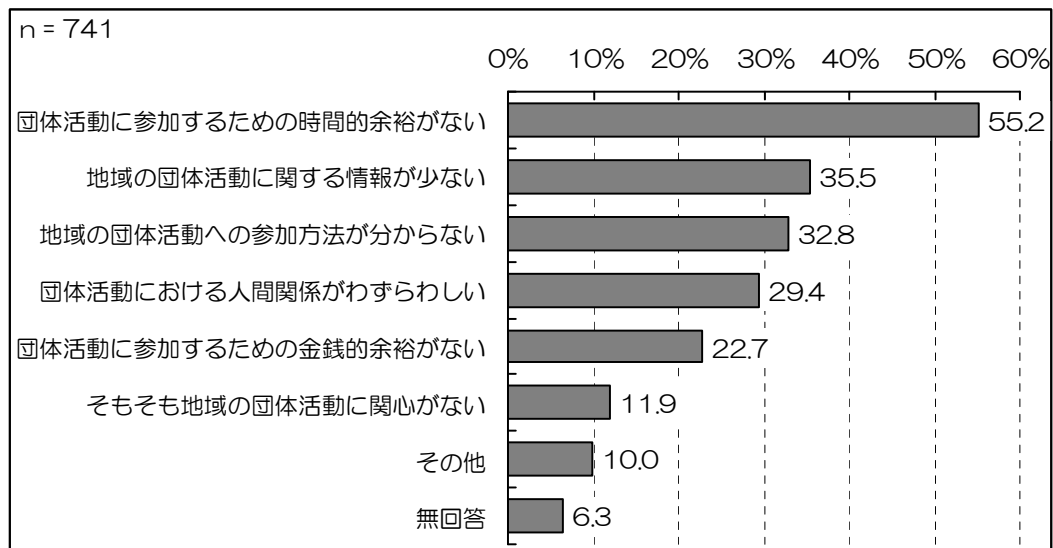
①地域における団体活動への参加状況（問9）（本編78頁）

- 「参加している」の割合が最も高かったのは「地域のお祭りやイベント活動」であり、次いで「地縁による団体活動」「子ども・子育てに関する団体活動」の順となっています。
- 「参加していないが、今後参加したい」の割合が最も高かったのは「生涯学習・社会教育に関する団体活動」であり、「関心はあるが、参加意向はない」の割合が最も高かったのは「保健・福祉に関する団体活動」となっています。



②地域における団体活動への不参加理由（問10）（本編79～80頁）

- 地域における団体活動に参加しなかった理由は、約半数が「団体活動に参加するための時間的余裕がない」をあげており、次いで「地域の団体活動に関する情報が少ない」「地域の団体活動への参加方法が分からない」と続いています。



③区政・地域活動に対する参加意識（問11）

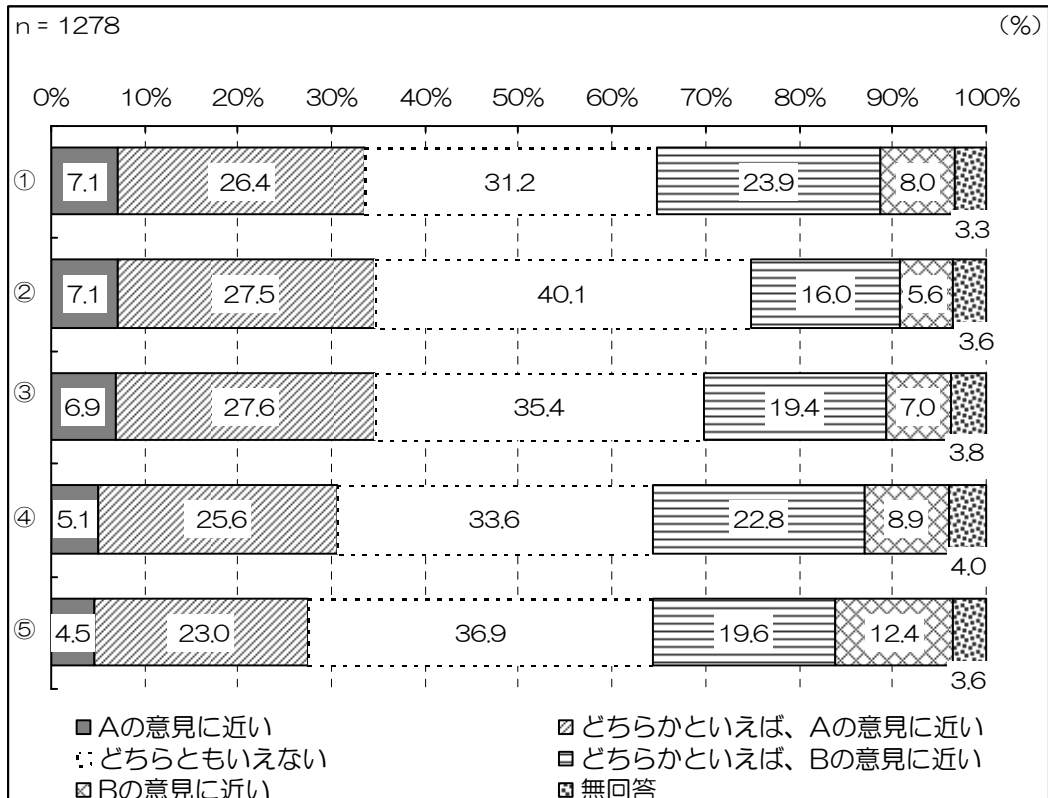
（本編81頁）

（参考）区政・地域活動に対する志向性に関する質問

問11 区政や地域における団体活動に関して、以下のようなA・Bの異なる意見があるとして、あなたはA・Bどちらの意見に近いご意見をお持ちですか。該当するものを1つずつ選び、あてはまる番号に○印をつけてください。

	Aの意見					Bの意見					
	Aの意見に近い	どちらかといえば、Aの意見に近い	どちらともいえない	どちらかといえば、Bの意見に近い	Bの意見に近い						
① 地域のことに自分の意見を反映させたり、活動にも参加したりしたい	1	2	3	4	5	地域のことは熱心に取り組んでいる人達を中心となって考えればよい					
② 区の事業に自分の知識や経験が活かされるなら、無報酬でも協力したい	1	2	3	4	5	区の事業に特に関心がなく、余裕もないので協力するつもりはない					
③ 生活に密着したサービスについては、報酬が少なくても取り組んでみたい	1	2	3	4	5	生活に密着したサービスについては、区や企業が提供するのを待つ					
④ 身近な地域の課題については、区と協働して主体的に解決していきたい	1	2	3	4	5	身近な地域の課題については、区に要望を出して解決を求める					
⑤ 地域の生活環境向上のためなら、多少の費用負担や施設の維持管理について協力したい	1	2	3	4	5	地域の生活環境向上のためでも、費用負担や施設の維持管理などの協力を求められるのには抵抗がある					

- ①②③の質問については、「参加したい」「取り組んでみたい」など参加に意欲的な回答（Aの意見に近い回答）が消極的な回答（Bの意見に近い回答）を上回っています。
- 一方、地域課題に対する主体性に関する④及び費用負担に関する⑤の質問については、参加に意欲的な回答が消極的な回答を下回っています。

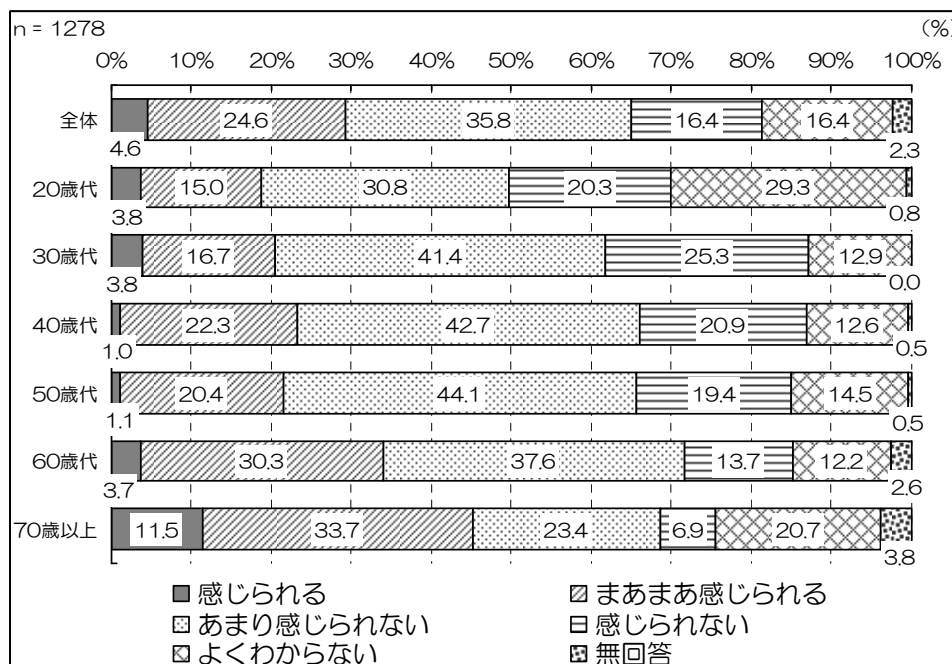


(6) 行政サービスと住民負担のバランス

①税金に見合った行政サービスの提供に対する評価（問12）（本編82～85頁）

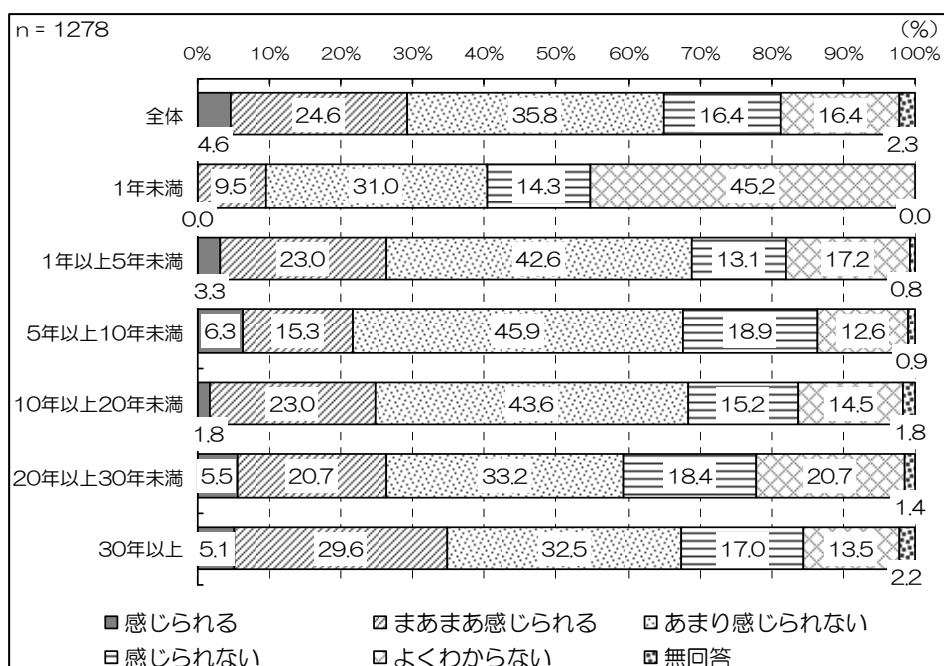
【全体傾向・年齢別】

- 全体傾向では「感じられる」「まあまあ感じられる」を合計した割合は3割程度であり、一方で、「あまり感じられない」「感じられない」を合計した割合は5割以上となっています。
- 概ね年齢が高くなるほど肯定的な回答をした方の割合が上がる傾向がみられ、「20歳代」と「70歳以上」ではおよそ26ポイントの差異があります。



【居住年数別】

- 「30年以上」で肯定的な回答の割合が34.7%と他の居住年数と比較して高くなっていますが、一方で「1年未満」で肯定的な回答の割合が9.5%と非常に低くなっています。

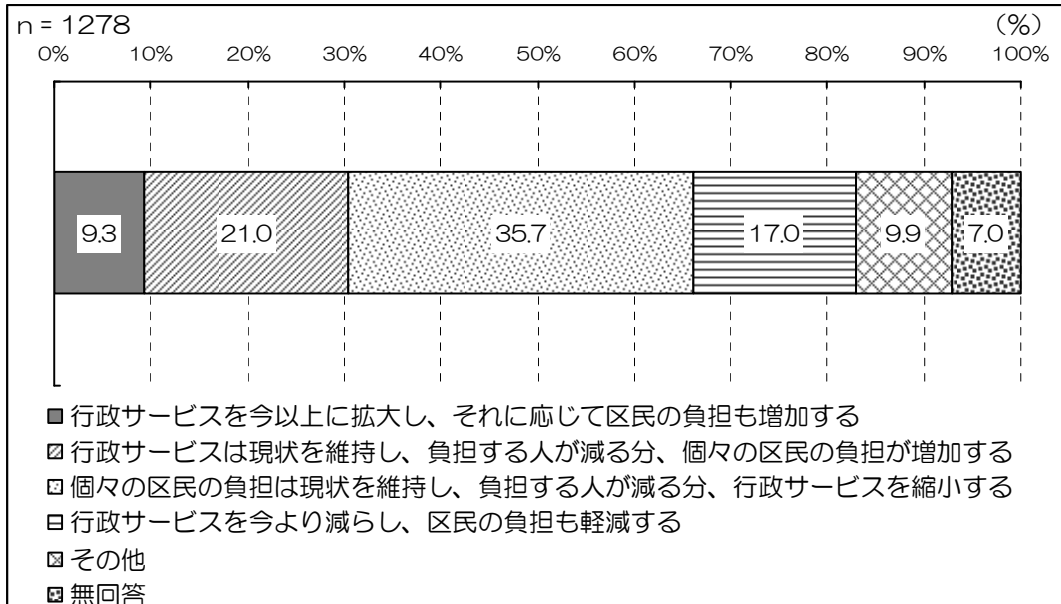


②将来的な行政サービスと住民負担のバランス（問13）

（本編 86～91 頁）

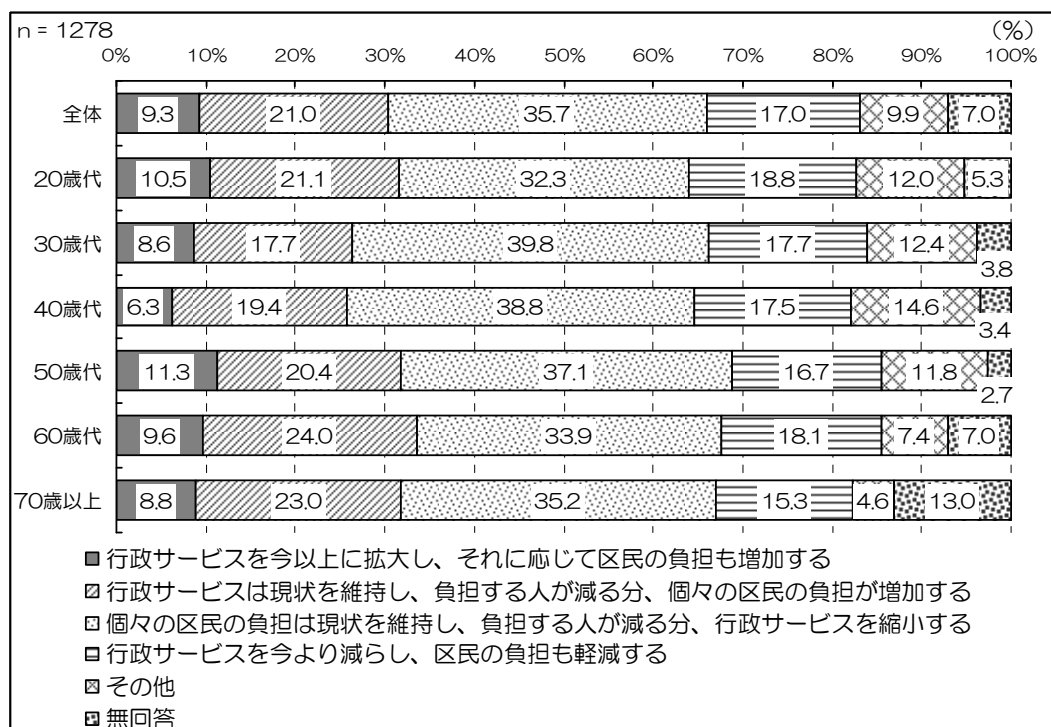
【全体傾向】

- 「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」が35.7%と最も多く、次いで「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」の21.0%となっています。



【年齢別】

- どの年代でも「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」が一番高くなっています。
- 「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」の割合が、「40歳代」で6.3%と低く、逆に「50歳代」で11.3%と高くなっています。

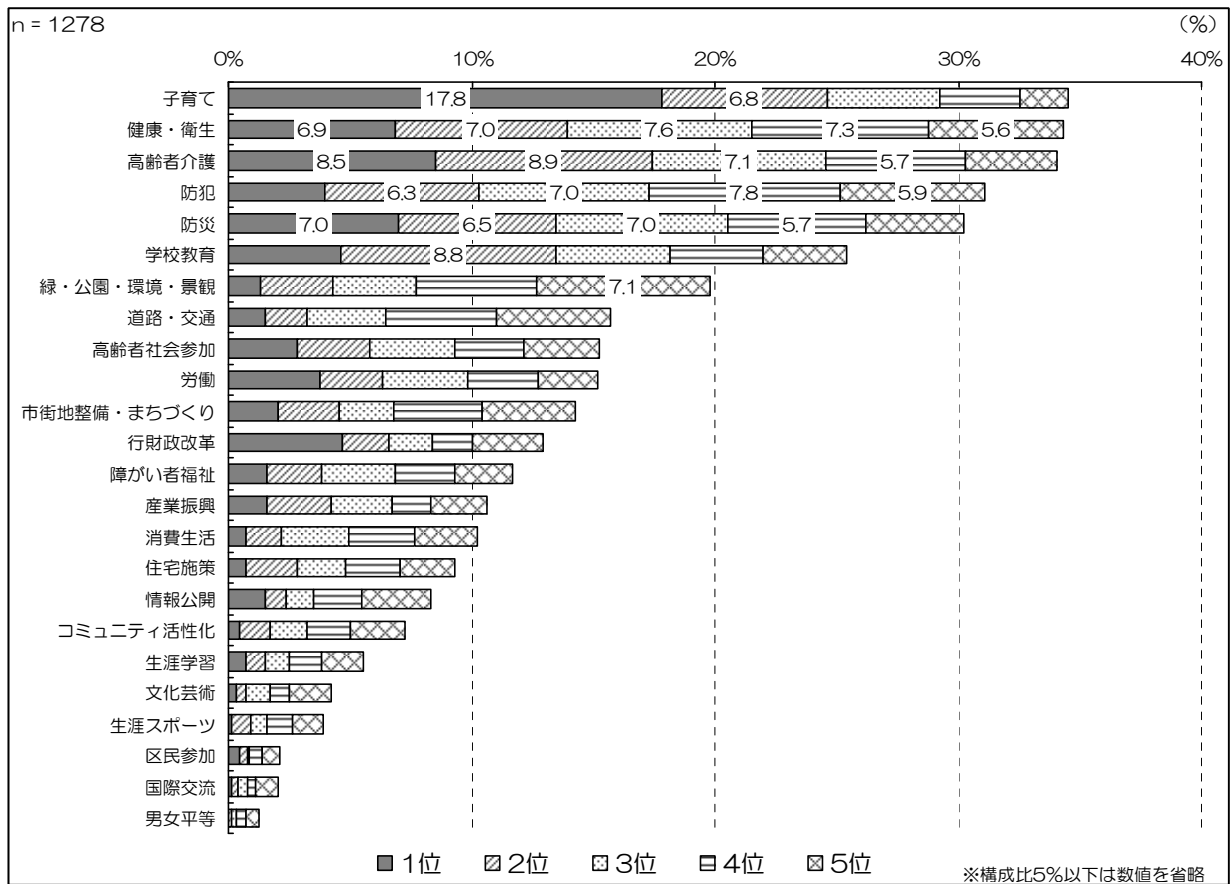


(7) 区が重点的に力を入れるべき施策

①区が重点的に力を入れるべき施策（問14）

（本編92～94頁）

- 24の施策分野を提示し、今後、区が重点的に力を入れるべき施策分野について、「第1位」から「第5位」までを選択していただいた結果は以下のとおりです。



- 第1位に選ばれた割合のみで見た場合、最も選ばれた施策分野は「子育て」ですが、次いで選ばれた施策分野は「高齢者介護」「防災」となっています。
- なお、「行財政改革」は「第1位」から「第5位」までを選択した方の合計では12位であったのに対して、「第1位」を選択した方に限ってみると5位となっています。

<今回調査（平成23年度）>

順位	施策項目	(%)
1	子育て	17.8
2	高齢者介護	8.5
3	防災	7.0
4	健康・衛生	6.9
5	行財政改革	4.7

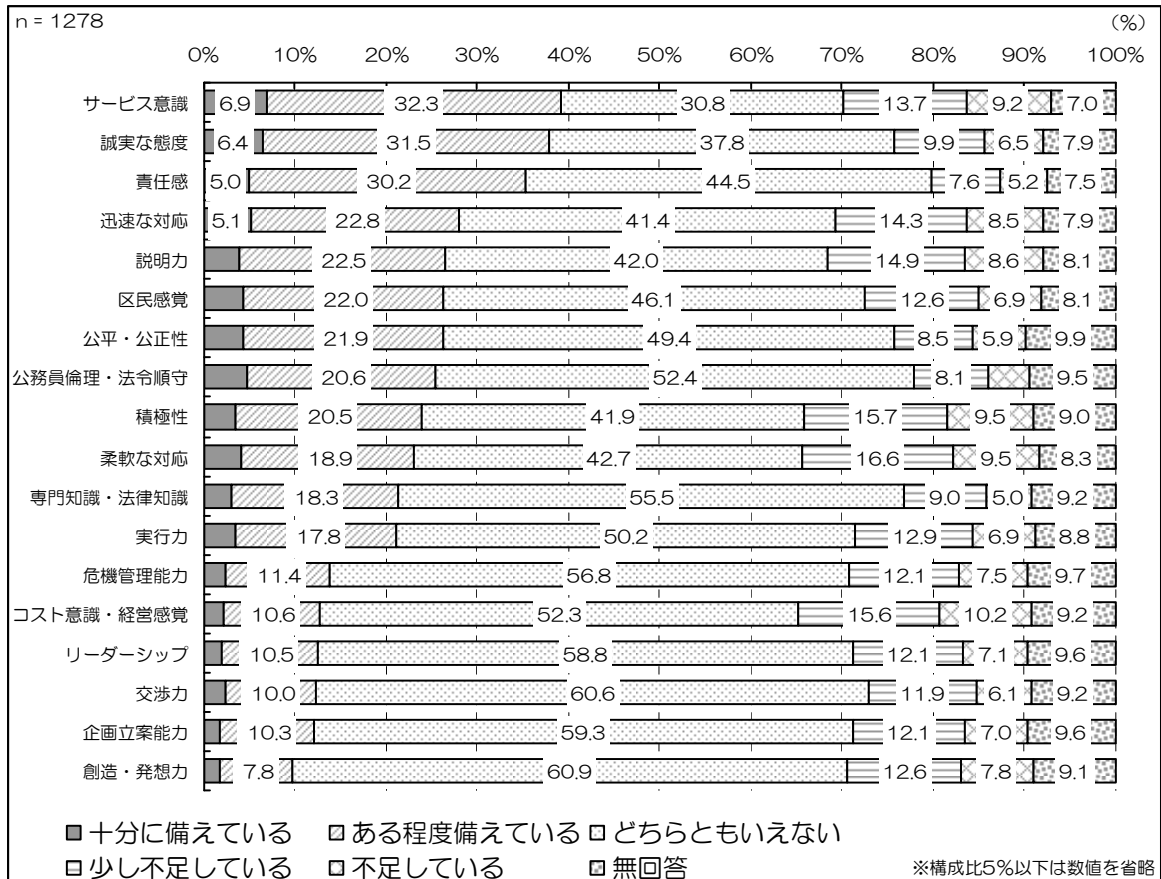
<前回調査（平成21年度）>

順位	施策項目	(%)
1	高齢者介護	19.5
2	子育て	19.0
3	健康・衛生	7.9
4	学校教育	7.7
5	防犯	5.2

(8) 職員に期待する能力・資質

①職員の能力・資質の現状評価 (問15) (本編95頁)

- 「十分に備えている」「ある程度備えている」という肯定的な回答の合計を割合順に並べると、最も肯定的な回答を得ている項目は「サービス意識」であり、次いで「誠実な態度」「責任感」となっています。
- 「少し不足している」「不足している」という否定的な回答をした方の合計では、「柔軟な対応」「コスト意識・経営感覚」「積極性」が下位3項目となっています。



②職員の「もてなしの心」に対する評価 (問16) (本編96頁)

- 「感じられる」「まあまあ感じられる」という肯定的な回答が約4割であり、「あまり感じられない」「感じられない」という否定的な回答の約3割を上回っています。

